

鷺田清一賞  
(高校部門)

広島市立舟入高等学校

2年

野津

日向子

つらいつて気持ちに、順位なんてないよ

### 中学校の担任の先生

春の中学校バスケットボール大会で私はゴールにはね返ったボールを捕るため、全力でジャンプした。そして着地に失敗。足首の骨を折った。

この大会中、母ががんの入院前だったので、点を決めて、少しでも笑顔になって欲しいと力みすぎていたのだ。歩けない不自由さと、母の心配で、正直つらかった。そんな私を見て担任の先生が「話を聞こうか」と声をかけてきた。でも私は誰かに相談するという事が、自分の弱みを握られているようで嫌だった。自分の悩みなんて、しようもないと思っていた。「私よりつらそうな人の話を聞いてあげて下さい」と、ぶっきらぼうに言う。先生は「つらいつて気持ちに順位なんてないよ」と静かに言った。胸の奥が熱くて痛かった。

### 受賞にあたって

学校の宿題でこのテーマを見たとき、真っ先に思い浮かんだことばでした。先生は中学二年生から二年の間、担任で生徒一人一人をよく見てくれていた先生でした。そんな先生から、この魔法のような言葉を聞いたときは、心が救われて、涙を流したことを覚えています。この言葉に出会ってから、自分自身は情けないと感じる悩みであっても、必ず価値があつて、そして聞かれる誰かが必ずいる、だから、誰かに苦しいと言つていいのだと思えるようになりました。